

第17回全国障害者生活支援研究セミナー開催要項

「発^たちあがる意思 起^たちあがる主体」

●開催要項

どんな人にも意思がある。そして、誰もがその意思に基づいて、自分の人生を主体的に生きる権利を持っている。この、それこそどんな人でも、誰でもが認めるはずのことが、ひとたび「障害者」という一言がそのことの中に入ってくると、立ちどころに揺らいでしまう。意思の在り方や感情の持ち方が一定のガイドラインのようなもので線引きされ、主体的に生きる権利も陰に日に制限されてしまう・・・「障害者」というカテゴリーのもので。まだまだ、私たちは、まるで当たり前のようにそのような世界に生きています。

このような「当たり前のように、当たり前ではないことがまかり通る世界」に敢然と異議申し立てを唱え、変革を迫っているのが「障害者権利条約」です。私たちサポート研は、「障害者権利条約」の理念と共振するように「どんな人にも意思がある」と考える立場を鮮明にしてきました。そしてその意思のもとに確固として権利の主体が存在すると考えます。しかし、まだその意思は出発していないのかもしれませんが。その主体は本当の意味で起動していないのかもしれませんが。

今回のセミナーのテーマは、「発(た)ちあがる意思、起(た)ちあがる主体」。1日目にまず、作家の東田直樹さんに講演をしていただきます。湧き上がる意思に基づいて主体的に生きるとはどういうことか。処女作『自閉症の僕が跳びはねる理由』が20か国以上の国で翻訳出版され、今や世界的な作家として活躍している東田さんのお話しは、我々に大きな勇気を与えてくれると思います。次に弁護士の水島俊彦さんに意思決定支援の最新の国際的な動向をイギリスとオーストラリアの状況をもとに紹介していただきます、我が国での意思決定支援の今後の方向性について実践的な示唆を得られると思います。最後に「“主体的に生きる”を支える」をテーマに実践報告を2題行い、水島弁護士の助言をいただきながら、支援の在り方について共に考えたいと思います。2日目は5つの分科会に分かれて、テーマごとに議論を深め合います。

○主催

特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会（サポート研）

○後援（予定）

公益財団法人日本知的障害者福祉協会/社会福祉法人東京都社会福祉協議会/東京都障害者通所活動施設職員研修会/社会福祉法人全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会/一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会/公益社団法人全国精神保健福祉会連合会/公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会/一般社団法人日本自閉症協会/きょうされん/日本障害フォーラム(JDF)/特定非営利活動法人東京都発達障害支援協会/全国自閉症者施設協議会/特定非営利活動法人日本障害者協議会/全国自立生活センター協議会

○参加対象者

障害者の生活支援にかかわる支援者の方 障害当事者とご家族の方 テーマに関心のある方
(手話通訳など何らかのサポートが必要な方は、申込み先までご連絡ください)

○募集定員

300名

○参加費（参加費・資料代）

【両日とも参加】正会員 10,000円 情報会員 11,000円 その他 12,000円(学生 6,000円) 懇親会費別途 6,500円
【1日のみ参加】正会員 6,000円 情報会員 6,500円 その他 7,000円(学生 3,500円) 懇親会費別途 6,500円

○申込締切

2016年1月29日(金)。1日目・2日目ともに、定員に達した段階で締め切らせていただきます。

○申込受付

参加申し込みは別添申込用紙にて、京王観光調布支店まで郵送またはFAXにてご送付下さい。

申し込み	京王観光 調布支店 (担当: 大野) E-mail t.ono@keio-kanko.co.jp
問合せ先	〒182-0024 東京都調布市布田 3-1-7 池田ビル5階 TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321

○日程・会場・内容

◎1日目 2016年2月13日(土)

9:20~9:50	9:50~10:00	10:00~12:00	13:00~15:00	15:15~17:00	18:00~20:00
受付	開会挨拶	講演Ⅰ	講演Ⅱ	実践報告	懇親会
新宿NSビル NSスカイカンファレンス ホールA・B(30F)					ルーム2

●全体会 (9:50~17:00)

◇会場 新宿NSビル NSスカイカンファレンス ホールA・B(30F)

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 代表TEL 03-3342-3755

(29F・30F専用シースルーエレベーターにて30Fへお越しください。他のエレベーターは不可。)

◆開会挨拶 (9:50~10:00)

赤塚 光子 (当代会長)

◆講演Ⅰ (10:00~12:00)

「主体的に生きる～自閉症の僕の七転び八起き」 東田 直樹 (作家)

◆講演Ⅱ (13:00~15:00)

「意思決定支援の国際的潮流 ～イギリスとオーストラリアの現状から～」 水島 俊彦 (弁護士・法テラス八戸法律事務所)

◆実践報告 (15:15~17:00)

「“主体的に生きる”を支える」

進行 小林 博 (社福 藤沢育成会 サービスセンターぱる・神奈川/当会理事)

報告者 松本 哲 (社福 みぬま福祉会 川口太陽の家・埼玉)

市岡 武 (社福 桐友学園 サポートセンター沼南・千葉)

助言者 水島 俊彦 (前掲)

●懇親会 (18:00~20:00)

◇会場 新宿NSビル NSスカイカンファレンス ルーム2(30F)

◎2日目 2016年2月14日(日)

9:00~9:30	9:30~12:00	13:00~15:30
受付	分科会	分科会
新宿NSビル NS会議室 3階会議室		

●分科会 (9:30~15:30)

◇会場 新宿NSビル NS3階会議室 (3F)

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 代表TEL 03-3342-3755

(2日目の会場へは、エスカレーター又は低層階用エレベーターでお越しください。)

分科会1: 3M会議室

分科会2: 3N会議室

分科会3: 3H会議室

分科会4: 3G会議室

分科会5: 3J会議室

事務局: 3E会議室

※分科会は、後掲「各分科会のテーマ及び要旨」をご覧のうえ、いずれか一つをお選び下さい。

※会場は変更になる場合がございます。その際は、当日までにご案内いたしますのでご了承ください。

○セミナー事務局

<全国障害者生活支援研究会（サポート研）事務局>

〒210 - 0848 神奈川県川崎市川崎区京町 2-24-4-608 TEL/FAX 044-271-8788

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp 担当 松永・加藤

○会場アクセス

新宿NSビル

JR線・京王線・小田急線・東京メトロ丸の内線 新宿駅 「南口・西口」より徒歩7～8分
都営地下鉄線（新宿線）・京王新線 新宿駅 「新都心口」より徒歩約6～7分
都営地下鉄線（大江戸線） 都庁前駅 A3出口 より徒歩約3～5分

○会場周辺案内図



※ JR新宿駅南口より地下道ワンデーストリートを使いますと雨に濡れずにお越しになれます。

○各分科会のテーマ及び要旨

分科会 1 本人の思いを聴く

◆「本人の『声』を聴き、本人の主体、思いを支える関わりについて、実践から考える」

分科会1では、「本人の思いを聴く」をテーマに、研究セミナーを行ってきました。本人主体は支援の基本ですが、実際の支援の場面において、本人の思いを聴き、本人の意思に応えるのは簡単なことではありません。

昨年の研究セミナーでは、参加者が持ち寄った支援計画・利用計画等をグループに分かれて報告し合い、本人を中心とした支援を行うために大切にしていることや困難に感じていることを互いに出し合いました。

今回は、昨年の報告の中からもぜひ参考にしたい計画作成や支援の実践について報告をいただきます。その後グループに分かれて、参加者が持ち寄った支援計画等を報告します。支援の現場において本人の声をいかに聴き、それを「本人の主体」の支援計画に反映させ、日常の支援の実践を行っていくかということに焦点を当て、明日からの支援につなげていきましょう。

* 当日は、本人の声を受け止めて立てた個別支援計画、サービス等利用計画等1ケースを、各自10部ずつ印刷して

お持ちください。グループディスカッションで使用します。氏名、住所など個人が特定できる文字は消す等、個人情報保護にご注意ください。

- 9:00 受付開始
9:30 趣旨説明
9:40 実践発表「本人の声に基づく個別支援計画・サービス等利用計画と支援の実践」
① 有澤 浩子（だれもがともに小平ネットワーク・東京）
② 上野 典子（青葉園・兵庫）
③ 水仙福祉会（大阪）
11:40 小グループに移動
11:50 グループディスカッション「本人の『声』を聴き、その思いにそった支援計画・利用計画を立て、実践していくために」（途中 60 分の休憩をはさみます）
15:30 終了

分科会 2 生きにくさへの支援

◆ 罪を犯した障害者たちは、今…

山本譲司氏が、「獄窓記」で刑務所に知的障害のある方が服役している現実を伝えてくれたのは、2003 年のことでした。以来、福祉の制度や施設という枠組みではとらえきれない人たちがいることに驚きつつ、その人たちが多くの困難とともに生きてきた人生をどのように捉えなおせばよいのか、本当は多くの支援が必要な人たちにどう支援を届けばいいのかを模索しながら、「生きにくさへの支援」をテーマに私たちは研究を続けてきました。

生きにくさを抱えた人たちの支援の一つとして、2009 年から地域生活定着支援センターが各都道府県に設置され、矯正施設退所後の生活先や福祉制度へのコーディネート、退所後のフォローをするようになりました。そして、私たちが働く施設にも、少しずつではありますがそういった方が入所・通所されるようになりました。

では、本当にその人たちの「生きにくさ」は、軽減されているのでしょうか。福祉制度やサービスは当事者の必要に応えるものとなっているのでしょうか。今回のセミナーでは、地域生活定着支援センターの事業が周知され実際に活動が展開されつつある現在、罪を犯した障害者たちの現状について改めて認識し、私たちの業務や支援のあり方について考えたいと思います。

午前は、前東京都地域生活定着支援センター統括センター長であり、日本障害者協議会（JD）理事である赤平守氏に講演をお願いしました。赤平氏は、『「生き場」をなくした人たち』（JDブックレット）を上梓されましたが、その内容を中心に罪を犯した障害者たちの今について語っていただきます。午後は、実際に矯正施設退所後の方が利用されている施設での現状や課題を聞きながら、自分たちは何をすればいいのか、何ができるのかを赤平氏も含め皆で討議したいと考えています。

自分の中にある障害者観や福祉観を見つめなおすだけでなく、「生きにくさ」を抱えた人の主体や意思にどう向き合うのかも考える分科会にしたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。

- 9:00 受付開始
AM 講演 『「生き場」をなくした人たち 一罪を犯した障害者の生きにくさに向き合う一』
赤平 守（NPO 法人日本障害者協議会理事）
PM 参加者による全体討議
15:30 終了

分科会3 エピソード記述

◆ 支援の個別具体をどうとらえるか 「関係発達論の基礎とエピソード記述を用いた実践の展開」

サポート研エピソード記述研究会は、これまで鯨岡峻先生の講義と支援者の書くエピソードを通して、本人と支援者とのふれあい、相互の主体への支援を学んで来ました。今回は、支援の関係発達論的理解とエピソード記述を用いた実践を考えたいと思います。関係発達論は、関係性への支援論の核心です。また、エピソード記述を用いた実践報告は、本人への自立への支援として意義深いものと思います。どうぞご参加ください。

※サポート研エピソード記述研究会では、毎回、鯨岡峻先生にご参加いただいておりますが、今回は、鯨岡先生のご都合によりご参加されません。鯨岡先生は、12月23日のサポート研東京セミナーには「関係発達論の基礎とエピソード記述を用いた取り組み」というテーマでご講演をお願いしています。よろしくお祈りします。

9:00 受付開始

司会 鈴木美和（社福 伊勢崎市愛のはぐるま会・群馬）

9:30 基調メッセージ 坂田晴弘（社福 万葉の里・東京）

9:45 講義① 理論的アプローチ「関係発達論とエピソード記述」 加藤啓一郎（社福 水仙福祉会・大阪）

11:15 エピソード記述【1】

12:00 休憩

13:00 エピソード記述【2】

13:45 講義② 実践的アプローチ「エピソード記述を用いた支援の具体的展開」 金沢信一（社福 同愛会・東京）

15:15 まとめ 安藤真洋（社福 武蔵野・東京）

15:30 終了

分科会4 行動障害

◆行動障がい理解と支援 ～学齢期に焦点を当てる

最近、日本各地で支援者による障がい者虐待が頻繁に報道されると共に、全国的に急増している「放課後等デイサービス」でも様々な問題が生じていて、本人理解のあり方や支援の質が問われています。成人期であれ学齢期であれ、行動障がいのある人の支援には多くの困難が伴います。良い支援をめざしていても、攻撃行動・自傷・こだわり等の意味を理解できないと、過度の制限・叱責・放置など不適切な対応になってしまうのではないのでしょうか。

これまで本分科会では、「行動障がいは作られる」との認識のもと、成人期の事例を検討する際も、その人の学齢期・幼児期に遡って行動の背景を知る必要性を訴えてきました。ここ数年、児童の分野においては、相談支援や放課後等デイサービス等を提供する事業所が増えてきました。学齢期の実態に触れる福祉関係者の増加に伴い、現場の支援者からも「ぜひ学齢期の問題を取り上げてほしい！」との熱い声が多数上がるようになりました。障がいのある成人の方々も納得のいく生活を送れるようになるには、幼児期・学齢期から本人の意思を尊重した支援が不可欠だと思われ

ます。
そこで今回は、成人期の生活を左右する「学齢期」に焦点を当て、学齢期にどんな問題が生じるか、本人や家族のおかれている状況、求められる支援等について、皆様と一緒に考えたいと思います。福祉、教育、医療等の関係者を含め、多くの方々の参加をお待ちしています。

9:00 受付開始

9:30 趣旨説明 山下 尚郎（当会理事）

9:40 講演 「学齢期における行動障がいの理解と支援における実践と課題」

岩崎 隆彦（社会福祉法人水仙福祉会 姫島こども園・大阪）

10:50 実践発表「行動障がいの理解と支援 ～学齢期の実践」

- ① ナナの家（東京）
- ② 昭和会（高知）
- ③ 翔の会（神奈川）
- ④ 淡路こども園（大阪）

12:30 休憩

13:30 グループディスカッション「学齢期における行動障がいの今後の取り組み」

15:20 まとめ 赤塚 光子（当会会長）

15:30 終了

分科会5 サポートシステム

◆「一人の市民として生きる」に私たちはどこまで迫ってきたのか ～障害者総合支援法見直しを前に～

障害者権利条約の批准から2年、2016年4月には障害者差別解消法の施行、ならびに障害者総合支援法施行後3年の見直しの時期となります。

障がいのある方が地域で暮らすことを支援する実践は全国各地で拡大してきましたが、はたして本人が一人の市民として主体的に暮らすことがどのくらい具体化してきたでしょうか。今回この分科会では、このあたりにスポットをあててみたいと思います。

午前は、内閣府政策企画調査官でもある尾上浩二さんに、総合支援法制定時に先送りとされた「3年後の見直し」がどうなっているのかの現状と課題について問題提起を受けたいと思います。とりわけ、総合支援法の前段での総合福祉部会論議で核となった「保護の対象から権利の主体への転換」にてらし、何が前進し、何が後退したのかを整理していただこうと思います。

午後は、午前の講演も受けながら、「権利の主体として、一人の市民として生きる」実践やそこにまつわる課題を現場から提起してもらいながら、会場の皆さんと一緒に論議したいと思います。

ぜひ多くの皆様の参加をお待ちしています。

9:00 受付開始

9:30 総合司会 明石 洋子（社福 あおぞら共生会・神奈川）
分科会あいさつ 柴田 洋弥（日本自閉症協会・東京／当会顧問）

9:45 講演「障害者総合支援法見直しの現状と課題」
講師 尾上 浩二（DPI日本会議副議長／内閣府政策企画調査官）

11:45 休憩

12:45 「一人の市民として生きる」にどこまでせまってきたか～各地の実践から～
コーディネーター 石渡 和実（東洋英和女学院教授）
発表者 清水 明彦（西宮市社会福祉協議会事務局長・兵庫）
古川 彰彦（社福 つばさ福祉会 父の夢施設長・福島）
村山 園（市川手をつなぐ親の会副会長・千葉）

第17回 全国障害者生活支援研究セミナー

セミナー・懇親会参加及び宿泊申し込みのご案内

会議の参加及び宿泊の申し込みは、京王観光株調布支店が代行させていただきます。
お申し込みは別紙申込書で郵送又はFAXにてお願い致します。

- ★ セミナー日程 2016年2月13日(土)～2月14日(日)
- ★ セミナー会場 2月13日(土) 新宿NSビル スカイカンファレンス ホールA・B
2月14日(日) 新宿NSビル NS会議室
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル TEL 03-3342-3755
- ★ 参加費 【両日参加】正会員 10,000円 情報会員 11,000円
一般 12,000円(学生6,000円)
【1日のみ】正会員 6,000円 情報会員 6,500円
一般 7,000円(学生3,500円)
- ★ 懇親会 費用 6,500円 場所:新宿NSビル スカイカンファレンス ルーム2
- ★ その他 遠方からのお越しで宿泊希望の方は宿泊手配を承ります。
2016年2月13日(金)～2月14日(土)を含む2泊

ご宿泊施設

新宿ワシントンホテル本館 (新宿駅西口駅徒歩約8分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約3分</small>	〒160-8336 東京都新宿区西新宿3-2-9		TEL 03-3343-3111 FAX 03-3342-2575	
	シングル	@14,000円	ツイン	@11,000円
京王プレッソイン新宿 (新宿駅西口駅徒歩約9分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約5分 *朝食は簡易朝食(パン・コーヒー・ジュース)になります</small>	〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-4-5		TEL 03-3348-0202 FAX 03-3348-0203	
	シングル	@10,000円	ツイン	設定なし
新宿ニューシティホテル (新宿駅西口駅徒歩約14分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約7分</small>	〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-31-1		TEL 03-3375-6511 FAX 03-3375-6535	
	シングル	@13,500円	ツイン	設定なし

ご宿泊取消料のご案内(宿泊日を基準とします)

取消日	30～15日前	14～08日前	07～04日前	03～02日前	前日	当日
取消料率	10%	15%	30%	50%	80%	100%

- ★ お申し込み方法
セミナー及び宿泊のお申し込みは、京王観光株調布支店あて別紙申込書で郵送又はFAXにて1月29日(金)までにお申し込みください。参加受付後、参加書類及び費用振込み案内を2月上旬頃送付させていただきます。
- ★ お問い合わせ先

 **京王観光** 京王観光株調布支店 〒182-0024 東京都調布市布田3-1-7 池田ビル5階

TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321 担当:尾澤・大野

営業時間:月～金曜日 9:00～18:00(土・日・祝日はお休みです)

第 17 回 全国障害者生活支援研究セミナー申込書

申込日： 年 月 日

お申込締切日：2016年1月29日（金）必着

★ ご注意：申込書のコピーをお控えとしてお取下さい。

都道府県名		勤務先				
参加書類等 送付先	〒 _____					
			TEL	()	FAX	()
参加者氏名（ふりがなをふってください）		役職	区分	参加希望日	希望分科会	懇親会
ふりがな	男・女		正会員	2月13日（1日目）のみ	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月14日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		
ふりがな	男・女		正会員	2月13日（1日目）のみ	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月14日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		
ふりがな	男・女		正会員	2月13日（1日目）のみ	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月14日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		

宿泊希望	宿 泊 日		希 望 ホ テ ル		部屋タイプ
有 無	2/12(金) (前泊)	2/13(土) (当日泊)	第一希望： 第二希望：		1・シングル 2・ツイン (どちらかに○印をお付け下さい)

★ 各ホテルの部屋数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい

★ 上記申込書に必要事項をご記入の上、下記あてに郵送又はFAXにてお申し込み下さい。

お申し込み先 **KEIO 京王観光** 京王観光株調布支店 〒182-0024 東京都調布市布田 3-1-7 池田ビル5階

TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321 担当：尾澤・大野

営業時間：月～金曜日 9：00～18：00（土・日・祝日はお休みです）